



狭心症、心筋梗塞について ①

日本における死因の第一位はがんで27.6%、第二位に心疾患が15.0%と続きます。心疾患の内、約40%が心不全であり約30%が心筋梗塞や狭心症となります。心筋梗塞や狭心症を合わせて虚血性心疾患といいますが、誰もがなりうる生命を脅かす怖い病気です。今回は虚血性心疾患について、総合大雄会病院循環器内科の谷信彦医師が解説します。

第二回 虚血性心疾患のあらまし、原因、症状について

●虚血性心疾患とは

どんな病気ですか？

心臓に栄養を送る血管(冠動脈)の内側が狭くなると、心臓が必要とする血流量が少なくなります。少なくなったサインとして、胸痛や息切れが出現します。血管が狭くなった状態が「狭心症」で、血流が完全に途絶えた状態が「心筋梗塞」となります。

●虚血性心疾患の原因は何ですか？

虚血性心疾患は動脈硬化が主な原因です。動脈硬化とは血管が硬くなり、弾力性が失われた状態を意味します。また血管の内側にコレステロール等が沈着し、狭くなる場合があります。動脈硬化は加齢でも進行しますが、その他の危険因子

●どんな症状が出ますか？

としては、「高血圧」「糖尿病」「脂質異常症」「喫煙」「肥満」などが挙げられます。

虚血性心疾患では胸痛や胸の圧迫感、息切れ等が主な症状となります。運動により多くの酸素が必要となるため、運動時に症状が出やすいとされています。冠動脈の狭窄(狭くなること)が進行した場合などには安静時でも症状が出る場合があります。心筋梗塞に至ると胸痛が持続し、冷汗が出たり失神することもあります。この様な症状が出た場合はかかりつけ医へ相談するか、専門医のいる医療機関への受診をお勧めいたします。また持続する胸痛や冷汗が止まらない場合は心筋梗塞の可能性があるため、迷わずに救急車を呼んでください。

他にもこんな症状が...



今回は虚血性心疾患の検査、診断と治療について解説します。ご期待ください。

監修

循環器内科診療副部長 兼
救命救急センター内科部門診療部長

たに のぶひこ
谷 信彦
医師



〈主な資格〉

- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本循環器学会 循環器専門医



YouTube
チャンネルはこちら



Instagram
インスタグラム
はこちら



Facebook ページ
はこちら



未経験
のかたも
歓迎

看護補助者ほか
各職種の非常勤スタッフ **募集中!!**

詳細は「大雄会 採用」で検索ください

☎ 0586-24-8891 (受付時間) 平日8:30~17:30